

# 会 議 録

会議名	平成29年度 第3回豊田市入札監視委員会		
日 時	平成30年2月7日(水) 午後3時～午後4時30分		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 53会議室		
出席者	委員長 曾我部博之	総務部	副部長 藤本 聡
	委 員 河野 伊知郎	契約課	課 長 能見 秀行
	丹羽 忠彦		副課長 永田 浩晃
			担当長 近藤 正典
			担当長 村井 幸介
			担当長 中條 圭祐
		上下水道局総務課	課 長 鈴木 満
			副課長 石川 直美
	(欠席：委員 岡田 千絵)		担当長 成瀬 孝紀

## 1 総務部副部長あいさつ

## 2 報告事項

### (1) 平成29年度第3四半期の契約状況

#### ◇市長部局

質 問	回 答
全体的に大きな問題はないと思うが、不調不成立が増えている要因は。	平成27年度の割合と同程度のため平成28年度が低かったとも見ることができる。業者は民間や国、県の工事を受注しているため、技術者の空きがないことも要因の一つとして考えられる。
仕事はあるのに建設会社が倒産している現状はあるのか。	豊田市内の建設業者では倒産の情報は聞いていない。
再発注に際し、どのような内容を業者にヒアリングしているのか。	ヒアリングは工事担当課が行っている。入札時に業者が提出した積算内訳書と市の設計書を比較し、違いが大きい原因をヒアリングしていると聞いている。
積算単価が実態とかけ離れている現状はあるのか。	資材単価は需要に応じて変化するので、積算単価と合わないこともある。労務単価も上昇を続けており、最新単価で積算はしているが実態と合わない時があると認識している。

◇上下水道局

質 問	回 答
不調で契約に至らなかった案件はどうしているのか。	工期が間に合うものは再度、一般競争入札として発注をする。道路工事等で工期が限られる案件は緊急工事として発注し、工事を実施している。
工事として実施できないことはあるのか。	必要な工事であるので、再発注し契約している。
ポンプ等を予防的に更新工事はしているのか。	ストックマネジメント計画を進めているところであり、計画が策定されるまでは担当課が優先順位を付けて順次更新している。
工事関係委託の契約額が平成28年度に比べ、減少しているが計画的に減っているのか。	第3四半期で比較すると減少しているが、第3四半期までの合計で比較すると微増している。
委託の発注時期の前倒しはあるのか。	委託について前倒しはない。

(2) 入札参加停止等の状況

質 問	回 答
無し	

3 審議事項

(1) 平成29年12月議会案件

質 問	回 答
竜宮橋橋りょう整備工事で減額が大きいのはなぜか。	業者から施工方法について提案があり、安価な施工方法に変更したためである。

(2) 委員選定案件等

質 問	回 答
一酸化炭素測定装置及び窒素酸化物測定装置の落札率が低い原因として納入後に維持管理や保守ができるからではないか。	医療機器等では定価設定は高いが、納入価格は低いことも多い。保守等も見込んでの価格でもあるとも考えられる。
軽貨物自動車の予定価格には下取り価格も反映されているのか。	下取り価格を加味して予定価格を設定している。
下取りがあった場合に固定資産台帳の登録額は差額で登録されるのか。	備品台帳には契約額なので、下取り価格を差し引いた金額で登録している。
ポンプ場自家用電気工作物点検委託で中部電気保安協会しか応札がなかったか設計金額が低いことが原因と考えられるか。	入札参加資格は26社程度あるが、1社のみの応札であった。設計金額が原因かは不明。年間の自家用電気工作物点検委託では個人の業者が請け負うこともある。
プロポーザル案件にする基準はあるのか。	ガイドラインがあり、その基準で案件を選定している。

4 その他

(1) 平成29年度意見具申に向けた意見集約について

平成30年2月20日(火)が委員からの素案提出期限

(2) 第4回委員会(意見具申)の開催予定について

平成30年3月19日(月) 午後3時から 南53会議室